

第21回奈良県消防長会消防救助技術指導会の実施について

この大会は、奈良県下13消防本部（局）の消防職員が、あらかじめ定められた訓練種目（7種目）に分かれ、日頃の訓練の成果を披露するものです。

なお、安全性、確実性と併せ所要時間を評価し、7月29日（火）に実施される東近畿地区消防救助技術指導会（京都市）及び8月29日（金）に実施される全国消防救助技術指導会（北九州市）への選考も実施します。

1 目 的

奈良県下の消防職員が消防救助技術訓練を通じて各種災害に対応する救助技術の向上と体力錬成を図り、救助業務の充実と発展に寄与することを目的とする。

2 実施日時

平成20年6月19日（木）午前9時00分～午後3時00分

荒天の場合は、6月20日（金）に延期（中止決定午前5時）

3 実施場所

奈良市八条五丁目404-1

奈良市消防局訓練場

4 内 容

別紙のとおり

5 主 催

奈良県消防長会

6 問い合わせ先（取材担当）

奈良県消防長会事務局

奈良市消防局総務課内

電話 0742 - 35 - 1199（内213～4）

訓練種目

(予定時刻)

- 9 : 4 0 ロープブリッジ渡過 (基礎訓練)**
水平に展張した渡過ロープを、表示した始点から折り返し点まで(20メートル)を、往路はセーラー渡過、復路はモンキー渡過で渡り、その安全性と所要時間を評価する。
- 1 0 : 0 0 ロープブリッジ救出 (連携訓練)**
4名(要救助者を含む)1組で、2名が対面する搭上の要救助者を救出するため水平に展張した渡過ロープをセーラー、モンキー又はチロリアンのいずれかにより渡過し、塔に進入、救出し、脱出するまでの安全性・確実性と合わせて所要時間を評価する。
- 1 0 : 3 0 ロープ応用登はん (連携訓練)**
2名1組で登はん者が塔前2メートルからスタートし、地上高15メートルの到達点まで器具を使わず補助者の協力を得て登り、その確実性と所要時間を評価する。
- 1 0 : 5 0 はしご登はん (基礎訓練)**
塔前5メートルからスタートし、自己確保の結索を行った後、はしごを15メートル登はんし、その確実性と所要時間を評価する。
- 1 2 : 3 0 ほふく救出 (連携訓練)**
3名(要救助者を含む)1組で、2名が後方10メートルの位置から出発し、煙道入口に至り、1名が空気呼吸器を着装して8メートルの煙道を検索、要救助者を煙道外に救出し2名が協力して要救助者を安全地帯(スタート地点)に搬送するまでに安全性・確実性と合わせて所要時間を評価する。

13 : 30 引揚救助（連携訓練）

5名（要救助者を含む）1組で、2名が空気呼吸器を着装して塔上の出発点から降下し検索後、要救助者を抱きかかえ救出し、塔下に搬送、塔上の2名と協力して塔上へ引揚げ、救助するまで安全性・確実性と合わせて所要時間を評価する。

14 : 10 障害突破（連携訓練）

5名（補助者を含む）1組で、4名がスタート地点からゴールに至る経路に設けられた5箇所の障害を、互いに協力して全員が突破し、ゴールするまで安全性・確実性と所要時間を評価する。

	種 目	出 場 隊 員 数
基礎訓練	ロープブリッジ渡過	4名
	はしご登はん	18名
連携訓練	ほふく救出	16組（48名）
	ロープ応用登はん	6組（12名）
	ロープブリッジ救出	5組（20名）
	障害突破	2組（10名）
	引揚救助	5組（25名）
合計		137名